

第 19 回網走開発建設部入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	平成20年1月28日（月） 網走開発建設部 第1会議室		
委員	菊地 均（北海商科大学教授） 佐藤 勲平（弁護士） 鈴木 輝之（北見工業大学教授） 中原 章博（税理士） 長澤 真史（東京農業大学教授）	（五十音順）	
審議対象期間	平成19年7月1日～平成19年9月30日		
議 事	<p>1 工事及び建設コンサルタント業務等に係る入札・契約手続の運用状況等に関する報告</p> <p>2 抽出工事及び建設コンサルタント業務等に関する当番委員の報告</p> <p>3 抽出工事及び建設コンサルタント業務等に係る一般競争（指名競争）参加資格の設定の理由及び経緯等に関する説明及び審議</p>		
委員からの意見・質問、それに対する回答			
	意 見・質 問	回 答	
	<p>【入札・契約手続きの運用状況等】</p> <p>意見質問等特記事項なし</p> <p>【一般競争契約（政府調達に関する協定適用対象工事）】</p> <p>一般国道238号紋別市渚滑橋上部工事</p> <p>意見質問等特記事項なし</p> <p>【一般競争契約（政府調達に関する協定適用対象工事以外）】</p> <p>常呂川改修工事の内上常呂1号樋管機械設備外更新工事</p> <p>入札参加者は1者だけであるが、何が要因であったと考えているか。</p> <p>仮に入札参加者が1者もいなかった場合はどのような対応になるのか。</p> <p>【一般競争契約（政府調達に関する協定適</p>	<p>推測であるが、本工事の発注時期が水門設備工事に係る談合事件で多くの企業が指名停止となった期間と重なったこと、本工事の発注規模がそれほど大きくないためあまり関心が持たれなかったこと、などが考えられる。</p> <p>1者も応募がない場合は、本件入札は取りやめとなり、一般的には工事内容や入札参加条件等を変更し、再発注の手続きをとることになる。</p>	

用対象工事以外)】

網走川環境整備事業の内網走湖浚渫外工事

本入札には3者が参加しているが、入札結果を見ると総合評価の点数が最も高い者は落札できず、入札価格の最も低い者が落札者となっている。総合評価落札方式を採用しても価格で落札者が決まってしまうのはなぜか。

本件の場合、入札参加した3者の総合評価の評価点に大きな差がなかったため、結果として入札価格の最も低い者が落札者となったものである。

簡易型総合評価落札方式の加算点については見直しを行っているところであり、平成19年度補正予算の発注工事(ゼロ国債)からは、加算点を最大30点まで拡大し、技術力や地域精進度等をより重視することとしている。

【一般競争契約(政府調達に関する協定適用対象工事以外)】

一般国道240号津別町本岐道路工事

入札参加者12者中、予定価格以下であったのは1者のみであるが、何が原因であったと考えているか。

積算の考え方に何らかの違いがあったものと思われるが、原因は分からない。

【一般競争契約(政府調達に関する協定適用対象工事以外)】

紋別港物揚場改良工事

意見質問等特記事項なし

【工事希望型競争契約】

一般国道333号遠軽町二林班川函渠外一連工事

意見質問等特記事項なし

【随意契約(建設コンサルタント業務)】

網走開発建設部管内野生動物事故防止対策調査検討業務

先ほど説明のあった「国土交通省における随意契約の総点検、見直しについて」によると、本業務は、平成20年度はどのような方式で発注することになるのか。

平成20年度については簡易公募型プロポーザル方式で発注する予定であり、民間業者が参入しやすい公募条件を検討する必要があると考えている。

委員会による意見の具申又は勧告の内容

なし